

20年後、30年後を生きる子どもたち

正解のない世の中を生き抜く力

協働して作り出す力 ⇔ AI

持続可能な社会を生み出す力

本校のめざす
学校像

地域・保護者の願い

ふるさとに根っこをもつ子ども

学力の定着・活力のある姿

人間力・生活力を大切にする学校

わくわく

にこにこ

きらきら

教育目標

いきいき学ぶ みんな輝く 未来へ進む 東栄小

校訓「ちえ輝く子、やさしさ輝く子、げんき輝く子」の育成に向けた教育を行う。

令和4年度めざす子どもの姿

ともに成し遂げた経験をもち、考え、伝え合い、行動する子ども

学校保健目標

「なりたい自分=かがやく自分」をめざして「こころ・からだ・しよく・くらし」を見つめ、
心身の健康の保持増進のためにすすんで行動できる子どもを育てる

保健室経営目標

学校保健委員会や健康委員会による集会活動を計画的に行い、
「姿勢ピン!東栄っ子」をめざすための指導の充実を図る

指導・支援の内容

○実態把握

・児童の実態を把握するために、姿勢に関するアンケート調査や姿勢のタイプ診断を実施し、東栄小の課題を明らかにする。

○継続的な観察・評価

・活動を実践していく中で、児童の姿勢が変化しているかどうか把握するために、教員による継続的な観察や児童の自己評価を大切にする。

○健康タイム

・児童が自分の姿勢の特徴を理解し、変化を実感しながらストレッチやトレーニングに取り組めるように、姿勢チェックを継続的に実施する。

○健康委員会

・東栄小全体が楽しみながら健康づくりに取り組めるように、児童の素直な意見やアイデアを大切にした委員会を運営をする。

○学校保健委員会

・児童や保護者、教職員が正しい姿勢でいることの良さを感じられるように、児童同士や親子間での対話を取り入れたり、良い姿勢がもたらす効果や自分に合ったトレーニング方法を学んだりする機会とする。

○活動へ取り組む様子を発信する

・学校ブログや東栄チャンネルなど、今年度の保健関係の取り組みを発信し、家庭はもちろん、地域の方々から声かけしてもらうきっかけをつくることで、児童の意識を高める。

○積極的な連携

・「すすすくだより」を通して保護者に児童の実態や継続して実施できるストレッチ方法を伝え、家庭の協力を得られるよう働きかける。
・より効果的な実戦になるように、学校医や地域の保健師から助言をいただき、活動に取り入れる。